

令和5年度 狭山市立新狭山小学校学校関係者評価表

※ 学校が行った自己評価の結果及びそれを踏まえた今後の改善方策について評価する。

※ 【評価の目安】 A：よくできている。（90%以上） B：概ねできている。（85%以上） C：あまりできていない（70%以上）

D：できていない。（70%未満）

領域	番号	評価項目	学校関係者評価委員から	
			評価	評価(文章表記)
学校運営全般	1	学校の重点目標が明確である。	A	○運動会を参観させていただきましたが、多くの児童が目を輝かせて楽しそうに競技演技に出場している姿をみると、日頃から学校が児童の自己有用感の醸成に多角的に工夫を凝らしている成果がでているものと評価できます。 施設の老朽化は見られますが、日常の清掃が行き届いているので、心地よさを感じます。 □感染症が蔓延する中でも、子供たちの活発な活動を阻害することなく、安心して子供たちが明るく元気に過ごせる環境がつけられている。
	2	児童は、学校生活が楽しいと感じている。	A	タブレットやパソコンを使用した授業が向上している。板書写しが苦手な児童にも要点が伝わる授業ができるよう、今後も工夫をしながら活用して欲しい。 登校渋りの児童に対して、日々家庭と連絡を取り合いながら丁寧に対応されている。子供の学校内での居場所づくりに親身に対応されている。
	3	教職員は、協力して教育活動に取り組んでいる。	A	発達障害や支援クラスの児童、外国人の家族を持つ児童たちに対して、人権尊重がなされている。 設備の修繕や充実について、随時チェックをいただいているが、今後も市に対して計画的かつ戦略的に予算要望を出して欲しい。
	4	清掃が行き届き、学校がきれいである。	B	■校長先生をはじめ、先生方が一丸となって学校運営に携わる体制が確立されていると感じました。その成果が授業や校内の雰囲気にも反映されていると思います。今後も子供ファーストの考え方のもと、学校運営に取り組んでいただきたいと思います。 施設の維持管理においては、定期的な点検等により適正に管理するとともに、事故防止に努めていただきたいと思います。 ◇新狭山小の児童は清掃を大変よくやると思います。職員の言う通り、指導の一貫性がとれていないと、崩れるのも早いです。職員が危機感を持っていることに安心しました。
	5	学校の施設・設備は安全に管理されている。	B	◆保護者からのありがたい意見と先生方の課題意識が相反しているようにも感じますが、この意識がよりよい学校づくりにつながるのだろうと感じました。課題意識を多方面から持てることは素敵だと思います。・環境整備は予算の関係もあり、難しいところもあると察します。今ある環境の中で工夫して最適な環境づくりをされていると思います。
学習	6	教師は、児童が興味関心のもてる授業、わかりやすい授業を実施している。	B	○どの学年のどの授業を観ても、児童が落ちついて授業に臨んでいます。先生がたが児童の興味を関心を引き出し、どのように学習活動を進めていくのが学力向上に効果的なのかをよく研究している賜ですね。 家庭学習の習慣化は中学校も課題であり、これは小中の共通課題としてとらえ連携を図りたいところですが、家庭の理解と協力が不可欠なのも事実です。量よりも質、児童が主体的に取り組みたくなる家庭学習課題を考えていく時期にきているのかもしれませんが、また、放課後の児童の居場所作りの観点から家庭学習をする場として地域交流センターの位置づけに一層期待したいです。
	7	児童は、落ち着いて学習に取り組んでいる。	A	□様々な授業や活動の中に発表の場を多々設けることで、積極性や自己表現力、コミュニケーション力、他人を思いやる学習場となっている。 校外での体験学習の機会が数多く実施され、児童の学びの幅が広がっている。
	8	児童は、基礎的基本的な学力を身につけている。	A	■タブレットを活用した授業については、緊急時等における貴重なツールとも考えられることから、継続して使用していただきたいと思ひます。また、授業の配信は、さまざまな理由で登校できない児童やその保護者にとって有益であると思われるので、先生方の負担も多いかと思ひますが、継続していただきたいと思ひます。
	9	児童は、家庭学習の習慣を身につけている。	B	学力学習状況調査の結果を踏まえ、明らかとなった課題を克服できるよう取り組んでいただきたいと思ひます。 ◇興味関心、わかりやすい授業については、準備と参観が必要です。時間をどう生み出すか難しいですね。 ◆タブレットが学習の中に導入されることが習慣となり、次の課題につながっているのかと感じました。

領域	番号	評価項目	学校関係者評価委員から	
			評価	評価(文章表記)
規律ある態度	10	児童は、進んであいさつをしている。	A	○学校では規律ある生活が定着していると思う。 □教職員の服装や言葉遣いは良い。 校長先生を筆頭に、威圧感のない明るく元気な先生方の児童への声掛けに、児童も元気な声であいさつや会話ができている。子供たちのトラブルや問題行動について、丁寧に指導をされている。
	11	児童は、時間を守って生活している。	A	■子供達は、学校以外でもきちんとあいさつをし、規律を守って行動していると感じています。場に応じた言葉遣いや規律ある態度の習得には先生方のご指導の他、校外学習の体験等も活かされているのではないかと思います。 ◇高学年がお手本になっている学校です。先生方の指導に感謝しています。どの先生も1年生から6年生担任ができる先生方です。この体制が維持できるよう管理職の先生にお願いします。
	12	児童は、きまりを守って生活している。	A	◆構内でのルールが高学年から下の子に伝わっているように感じられ、理想的だと思いました。
健康・体力	13	学校は、児童の体力を高めている。	A	○体力テストの結果をみて課題を把握し、小中連携の一つとして具体的に取り組みたいところ。 □コロナウィルス感染防止に配慮されながらも、必要な運動の機会を確保されている。 運動については、今後も工夫をされながら運動の機会を増やして欲しい。
	14	児童は、体育や外遊びに意欲的に取り組んでいる。	A	■コロナ禍における制限が撤廃され、子供達が元気に体育の授業に取り組み、積極的に外遊びをしている様子が見えきました。学校以外でも公園等で遊ぶ姿をよく見かけており、子供達は健康に過ごしていると感じています。 インフルエンザ等の感染予防に努めつつ、コロナ禍により危惧されている子供達の体力向上に積極的に取り組んでいただきたいと思います。
	15	児童は、健康を意識した生活をしている。	A	◇新狭山小の児童の企画力を生かした児童主体の体力向上策に取り組むと思いがけないアイデアが出てくることがありますよ。 ◆様々な取組について、子供たちが興味をもって活動に取り組めるように工夫されていることを感じました。
地域との連携	16	学校は、教育活動に関する様々な情報を積極的に提供している。	A	○デジタルツールを活用して、新しい時代の情報提供が定着しつつある。 ○新年度からのコミュニティースクールの役割を保護者や地域と共有しながら、保護者や地域の学校への関わり方のモデルを構築していただきたい。 □学校から地域への情報発信は、積極的に行われている。 家庭教育、社会教育を学校教育と連携させていくために、協働活動を行うための環境づくりを今後も発展させていって欲しい。
	17	学校は、保護者や地域と連携・協力し、教育活動を行っている。	A	■スクリーン等による情報発信は、利便性だけでなく、紙の使用量削減や業務の効率化においても非常に有効であると思います。 地域の活動は、学校関係者の皆様のご協力をいただき、計画どおり実施することができました。今後も、地域と学校が寄り添い、情報共有を図りつつ、連携・協力していきたいと考えております。 ◇担任の負担を軽くするための連携を共に考えていきましょう。 ◆地域の保育所としては学校から出るオープンな情報や受け入れに感謝しています。今後ともよろしく願いいたします。